

本メールは、過去にアストロデザインが主催・出展するセミナーやイベントにご来場いただいた方、名刺交換させていただいた方および、本メールサービスに登録申込みをしていただいた方へ配信しております。

※配信解除や登録内容の変更をご希望のお客様は、本メールの下部をご覧ください。

こんにちは、長い冬が明けてようやく春がやってきました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。アストロデザインから第1号となるメールマガジンをお送りします。

目次

- ◆-----◆
- 【ニュース】 … シリコンバレーに事業所を開設
- 【製品紹介】 … 新製品 4K カメラの紹介
- 【イベント情報】 … NAB2012 に出展
- 【トピックス】 … ラウドネスの解説
- 【編集後記】

◆-----◆

【ニュース】シリコンバレーに事業所を開設

◆-----◆

アストロデザインは4月1日にアメリカ・シリコンバレーに新事業所をオープンしました。アメリカの半導体そしてIT産業の中核のシリコンバレーを拠点として、あらためて世界の映像業界・放送業界へアクセスし、製品の提供をしていきます。開所の記念として5月17、18日に現地にてオープンハウスを開催する予定です。

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/news/news-20120330-1271.html>

◆-----◆

【製品紹介】新製品 4K カメラの紹介

◆-----◆

ハイビジョンの4倍の精細度を持つ4Kが次の世代の新しい表現方法として注目されています。シアターやホールでの利用、デザイン現場でのプレゼンテーション、そして医療映像として、すでにさまざまな活用が始まっています。アストロデザインは、4K映像システムにいち早く取り組み、4Kカメラ、4Kレコーダ、4Kモニター、4K編集機、と4Kシステムをトータルにサポートするラインナップをそろえています。

今回は、これまでの 4K カメラをグレードアップした新製品「AH-4413」をご紹介します。

- ・ 4K (3840x2160p59.94/60) プログレッシブ映像をリアルタイム出力。
- ・ レンズマウントに、マイクロフォーサーズを採用。変換マウントにて PL レンズの取り付けが可能。
- ・ レンズ制御 (IRIS、フォーカス、ズーム) 可能。
- ・ カメラヘッドとカメラプロセッサ間はケーブル一本で接続。
- ・ モニタ出力 (HD-SDI/3G) はカメラヘッド、カメラプロセッサ両方より出力可能。
- ・ AC/DC (+24~48V) 入力両対応。システム全てバッテリー供給が可能。
- ・ カメラヘッド、カメラプロセッサ、マスターコントローラの 3 ユニット構成。
- ・ カメラヘッドは小型、軽量。

AH-4413 によって 4K 映像システムがより身近なものになりました。デモをご希望の場合は、営業部までご連絡ください

AH-4413 について詳しくはこちら：

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/ah-4413>

◆ 【イベント情報】 NAB2012 に出展します ◆

今年の NAB ショーは 4 月 14 日から 19 日までラスベガスで開催され当社も例年どおり出展します。アストロデザインの今回の見どころは、前述した、4K カメラ AH-4413 やフル HD 解像度 EVF、4K ウェーブフォームモニタ、4K ポータブルレコーダを初公開します。NAB ショーへ行かれる方はぜひ、アストロデザインのブースで、触れていただきたいと思います。スタッフ一同お待ちしております。お気軽に声をかけてください。

その他、2012 年 4 月~9 月までの当社イベントスケジュールは以下をご覧ください

http://www.astrodesign.co.jp/japanese/2012?post_type=event_docs#internal

◆ 【トピックス】 ラウドネスの解説 ◆

ラウドネスとは、ご存じのとおり音声信号レベルと人間の聴感上の音量を対照させる補正カーブをいいます。最近、放送業界でこのラウドネスという言葉がよく聞かれるようになりました。今回はそのお話です。

テレビ放送において、「番組によって音量がバラバラで、いちいちリモコンで音量調整しながら見ている」、などということをよく聞きます。特に今回、放送がアナログからデジタルに変わり、かつて放送局終段に使われていたコンプレッサが無くなり、視聴者側での番組毎の音量差はさらに激しくなっています。

そこで提案されたのが、番組毎の音量を制作時点でそろえるという考え方で

す。日本では民放連が先頭に立ち T032 という規格を定め、2012 年の 10 月 1 日から試験運用、2013 年の 4 月 1 日から本運用が予定されています。T032 は、人間の聴感上の音の大きさを表すラウドネス値に基づいて決められています。そのせいで、放送業界ではこの動きを単に「ラウドネス」と称しているのです。

T032 の規格を簡単に説明しましょう。まず、番組の音声信号レベルをラウドネス曲線で補正したラウドネス値を算出し、以下の基準を課すことになっています。

- ・平均ラウドネス値を、 $-24.0 \text{ LKFS} \pm 1\text{dB}$ に収めること
- ・VU 計で適切なダイナミックレンジに収めること
- ・トゥルーピークが -1dB を超えないこと

以上は番組 1 本単位で要求されるので、番組尺全体にわたって上記を満たさないと完パケは受け入れてもらえません。現場ではラウドネス値を直読できるラウドネスメータと呼ばれる音声機器が必須になります。

制作側のポストプロスタジオなどで必要なのはもちろん、放送局側もモニタとチェックのために必要です。

アストロデザインでは既にラウドネスメータのついた音声モニタ装置「AM-3800-D」を販売しています。しかも、T032 規格を満たすための MA 作業をスムーズかつ容易にする、他社製品には無い機能を盛り込んだ決定版です。

ラウドネスについて詳細解説：

AM-3800-D について詳細：<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/am-3800-d>

◆
◆

【編集後記】

◆
◆

ここ最近、オンライン英会話にハマってます。ネットがつながった PC やスマホで Skype をインストールすればいつでもどこでも英会話できてしまう、というのはスゴイです。特にフィリピン拠点のオンライン英会話は、いま先方でも起業ブームだそうで、探すといくらでもあります。しかも、最低料金が、マンツーマンでも 25 分で 100 円ちょっとだったりして激しく安い！ 無料体験レッスンだけ渡り歩いて 1 ヶ月ぐらゐは余裕で毎日できちゃいます。国内の英会話教室もこういう動きに対抗して行くのはなかなか大変でしょうね。われわれユーザー側から見るとこんなにいいことはないですが、国内の英語教育もこんな風に海外にアウトソースされて行っちゃうのかな、とちょっと複雑な気持ちです。

(H)

それでは、みなさん、季節の変わり目、健康に気を付けてがんばりましょう！

Twitter：<https://twitter.com/AstrodesignInc>

◆新規登録・登録内容の変更や配信停止はこちらからお願いします。

新規登録：

登録内容の変更：

パスワード再発行画面：

※新規登録をご希望の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

※パスワードがない、又はお忘れの場合は、パスワード再発行画面より再度取得して下さい。

※配信停止は、登録内容の変更でログインしてから配信停止を行なって下さい。

◆その他ご意見・ご感想、ご興味のあるテーマ、取り上げて欲しいテーマ等ございましたら下記編集部までお気軽にご連絡下さい。

info_mag@astrodesign.co.jp

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信しています。

このメールアドレスに返信いただいても、お答えできませんのでご了承ください。

本メールの内容の無断複製、転載は禁じます。

本メールマガジンの著作権はアストロデザイン株式会社に帰属します。

Copyright 2012 ASTRODESIGN, Inc. All rights reserved.
